

<マシュマロとチョコレート>

つい先日の激しい雨にも負けず 2 輪のユキモチソウがみごとに満開です。前回には蕾がマシュマロのようだとご紹介しましたが、今は精緻なガラス工芸のランプに見えたり、内側が真っ白な容器に盛り付けたアイスクリームのようにも見えますね。

ところで春先には白、淡い青、薄いピンクなど白っぽい花が多いと思いませんか。ユキヤナギ、サクラ、セリ、ハコベ、ナズナ、シャガ、オオイヌノフグリなどなどです。そんな中でヤマブキとヘビイチゴの黄色い花が目立ちます。



<ユキモチソウ>

一方でよくよく探さない  
と分からないような花もあります。池の東畔の斜面に植わっているコナラの根本にカンアオイが 1 株生えています。先のとがった卵形で斑の入った広葉が沢山ついていて、葉をかき分けて



みると何とも奇妙なものが見えます。

<カンアオイ>

チョコレート色で真中に丸い穴が開いた菱形をしています。ユキモチソウと比べるのも可愛そうな気がします。ただ、盛りの時にはもうちょっと綺麗なようで、来年の 2~3 月に期待しましょう。

<ひとつ、ふたつ、みっつ、そしてたくさんたくさん>

カンアオイから右に目をやるとニリンソウが白い花を沢山つけています。葉の付け根から 2 輪の花がのびるのでこの名があるようです。じゃあイチリンソウやサンリンソウはどうなのと思う人もいるでしょう。ちゃんとあるのです。葉っぱとか葉柄とかは異なりますが同じく似たような白い花を付けます。ビオトープには 1 輪し

か花を付けていない株があるのでひょっとしたらイチリンソウかと思いましたが、残念ながらニリンソウ。



春といえばグミの花も逃せません。派手さはないのですがたくさんの花が賑やかで、稔の豊かさを予感させます。(文と写真：松本正勝)

<グミ> ↑

<ニリンソウ> ↑